

グローバルメジャープレイヤーに向けた 知的財産戦略

2013年4月16日

株式会社日立製作所
知的財産権本部 本部長

鈴木 崇

目次

1. グローバルメジャープレーヤーに向けた知財活動
2. 知財活動のグローバル化
3. 事業を支える知財ポートフォリオ構築・活用
4. 国際標準化活動

社会イノベーション事業で世界に答える日立



産業・交通・都市開発システム



情報・通信システム



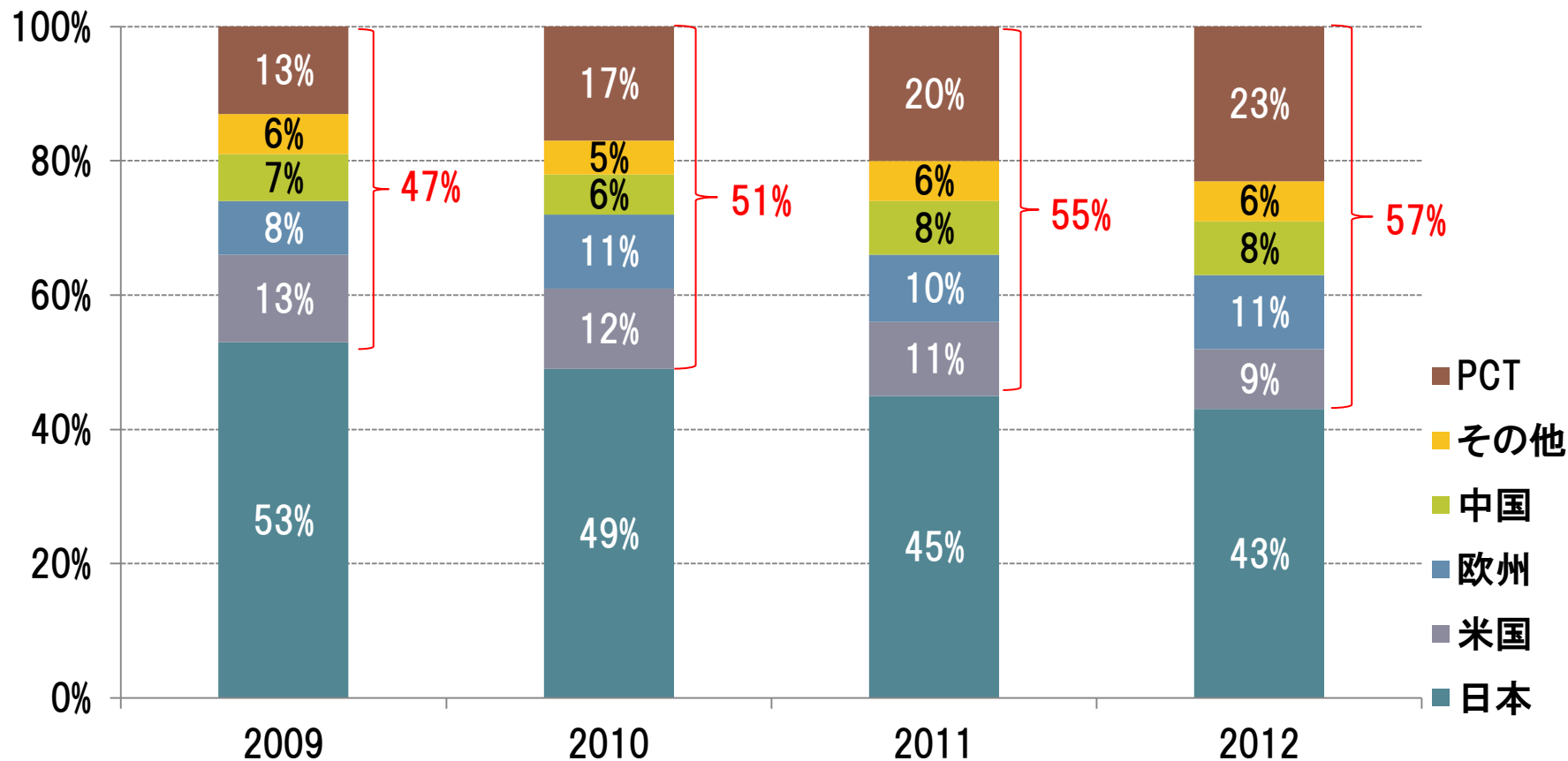
電力システム

ビジョン：グローバル競争を勝ち抜く知財力の構築

- ◆ 知財活動のグローバル化
- ◆ 事業を支える知財ポートフォリオ構築・活用

2. 知財活動のグローバル化(出願)

◆2012知財中計:海外出願比率*1目標55% ⇒ 57%達成
◆日米中心 ⇒ PCT*2利用しグローバルに権利取得



*1 海外出願比率=海外特許出願件数/W.W.での特許出願件数

*2 PCT: Patent Cooperation Treaty, 1出願で多数国出願の効果を得られる、想定権利化国数に換算してカウント

2. 知財活動のグローバル化(出願)

日立グループ 2012年公開特許件数(米国は登録特許件数)*

日本公開			米国登録			PCT公開			中国公開			欧州公開		
	企業Gr	件数		企業Gr	件数		企業Gr	件数		企業Gr	件数		企業Gr	件数
1	パナソニック	11,400	1	IBM	6,500	1	中興通信	3,900	1	中興通信	4,400	1	シーメンス	2,200
2	日立	10,000	2	サムスン	6,300	2	パナソニック	3,600	2	鴻海	4,200	2	サムスン	1,900
3	トヨタ	9,600	3	ソニー	3,600	3	シーメンス	2,100	3	華為技術	4,100	3	LG	1,600
4	東芝	8,600	4	パナソニック	3,600	4	トヨタ	2,100	4	パナソニック	3,000	4	GE	1,500
5	キヤノン	8,000	5	キヤノン	3,300	5	華為技術	2,000	5	中国石油化工	2,900	5	ボッシュ	1,400
6	エプソン	5,500	6	LG	2,800	6	シャープ	2,000	6	ソニー	2,800	6	クアルコム	1,400
7	三菱電機	5,400	7	東芝	2,700	7	日立	1,900	7	浙江大学	2,700	7	フィリップス	1,300
8	NEC	5,000	8	鴻海	2,700	8	ボッシュ	1,900	8	サムスン	2,500	8	中興通信	1,300
9	富士通	4,800	9	マイクロソフト	2,600	9	LG	1,800	9	LG	2,400	9	エリクソン	1,300
10	富士フィルム	4,800	10	日立	2,600	10	クアルコム	1,500	10	清華大学	2,100	10	パナソニック	1,300
									11	日立	2,000		
												16	日立	800

* Shareresearch, Patolis, IFIPAT/Questel-orbit, Pat-List/CN に基づく当社調査, ランキングは四捨五入前の件数で記載

TOP100グローバル・イノベータ・アワード受賞

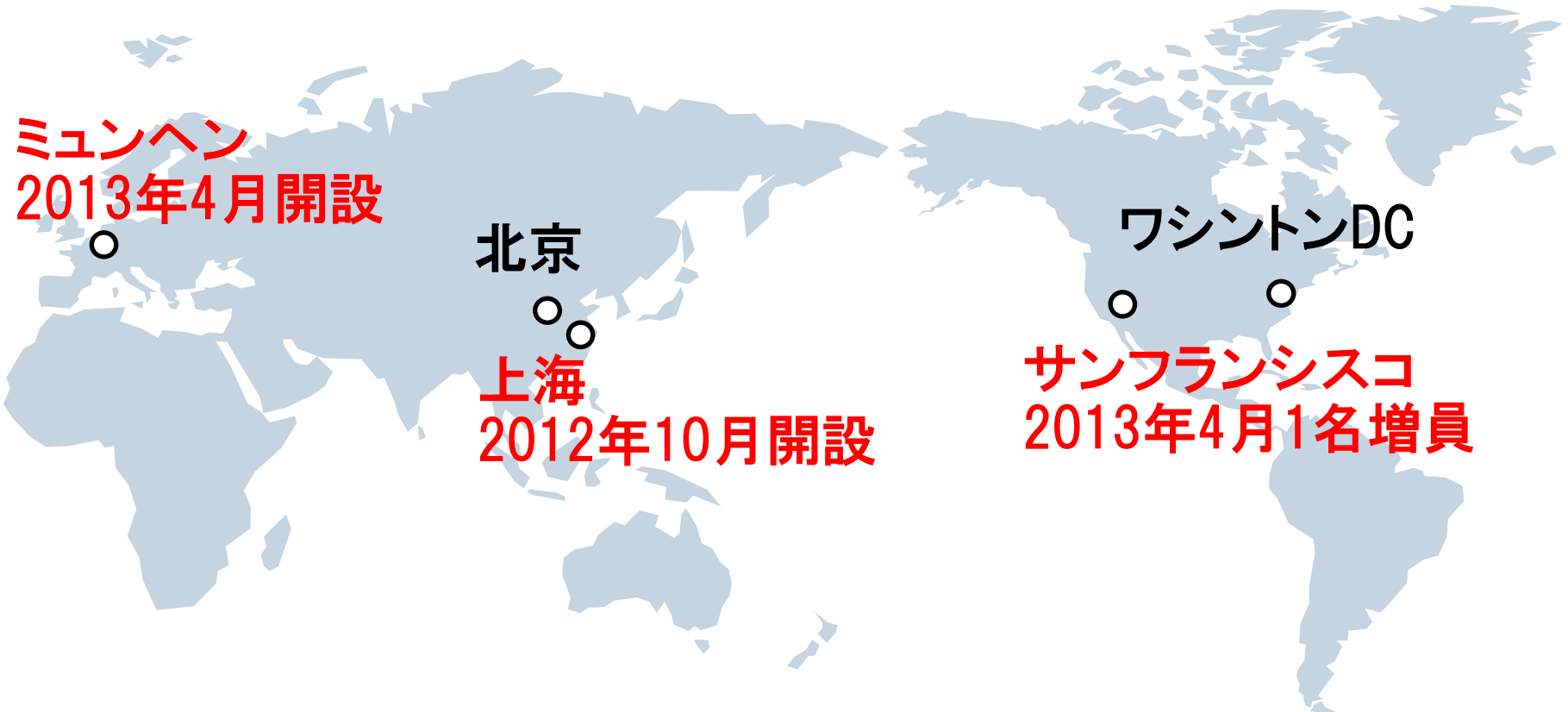
【受賞理由】

- ◆「特許数」「特許の影響力」は特に高い評価
- ◆「登録率」、「グローバル性」も高い評価

2012 THOMSON REUTERS
TOP 100
GLOBAL INNOVATORS

2. 知財活動のグローバル化(知財オフィス)

海外ラボ強化に伴い海外知財オフィス増強

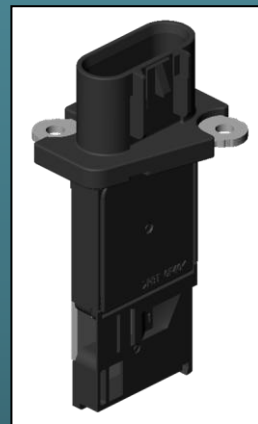


海外ラボ発明の出願・権利化、現地従業員への知財教育等、
海外での知財活動を推進

社会イノベーション事業への貢献

1. 主要市場で知財ポートフォリオ構築

- ◆自動車部品 (エアフローセンサ)
- ◆鉄道車両 (車体および駆動装置)



2. 事業を支える知財活用

- ◆他社追従阻止 (異方導電フィルム)
- ◆技術力アピール (WANアクセラレータ)

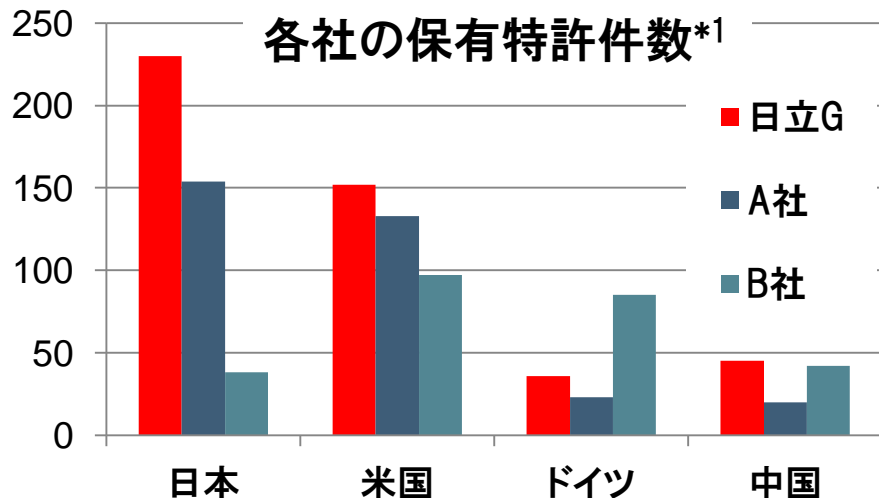


3. 事業を支える知財ポートフォリオ構築・活用

主要市場で知財ポートフォリオ構築

エアフローセンサ

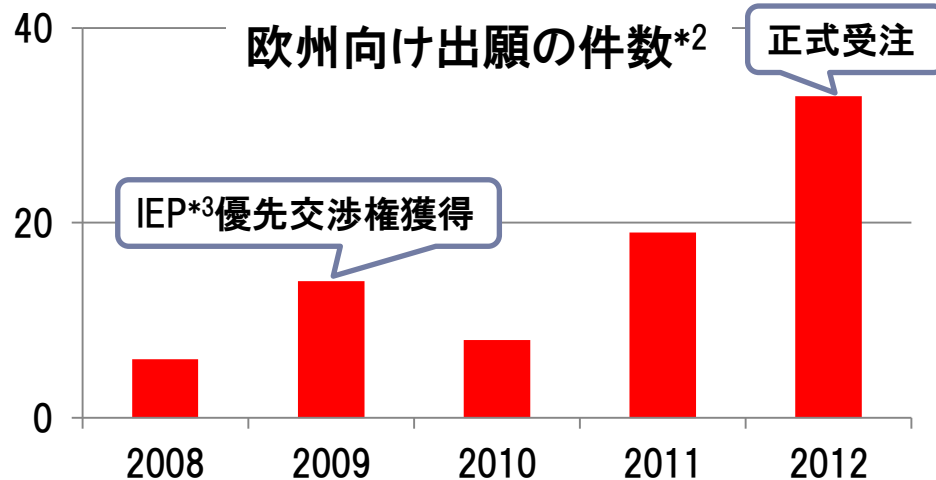
各社の保有特許件数*1



- ◆世界シェア1位
- ◆特許ポートフォリオ構築し
主要市場で他社追従牽制
⇒ ドイツ、中国出願を強化中

鉄道車両

欧州向け出願の件数*2



FSW*4をはじめとする特許、意匠を保有

- ◆国内:約600件、海外:約600件

IEP契機に欧州増強中

*1: Sharesearchに基づく当社調査

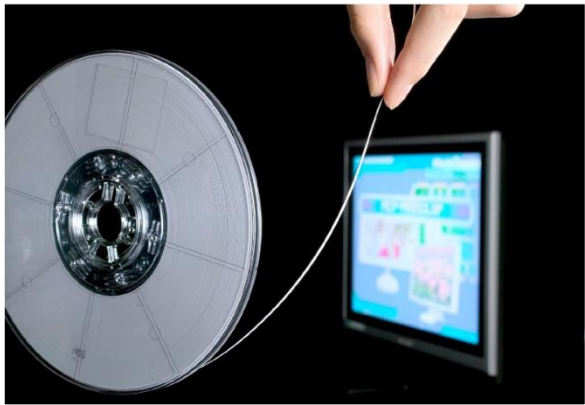
*2: 欧州特許・意匠出願およびPCT出願の合計数

*3: Intercity Express Programme 英国運輸省が進める主要幹線の車両置き換えプログラム

*4: Friction Stir Welding 摩擦攪拌接合技術、英国溶接研究所(TWI)からライセンスを受け車両への応用技術を開発

3. 事業を支える知財ポートフォリオ構築・活用

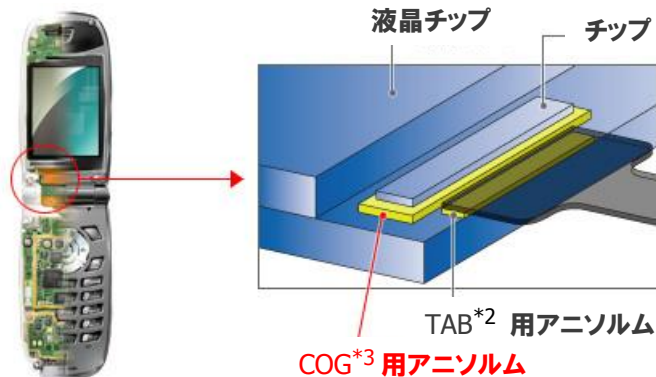
事業を支える知財活用：異方導電フィルム「アニソルム*1」



日立化成が世界に先駆けて開発した回路接続用材料

- ◆ 世界シェア1位、
- ◆ 特許網も構築(W.W.で約600件の登録特許)
- ◆ 内閣総理大臣発明賞、紫綬褒章 受賞

韓国メーカーがタッチパネル用途の
異方導電フィルムの製造・販売を開始



2013年2月

韓国のソウル中央地方法院へ提訴
製造・販売の差止を請求

*1: 「アニソルム」は、日本国内における登録商標です。

*2: Tape Automated Bonding

*3: Chip On Glass

3. 事業を支える知財ポートフォリオ構築・活用

事業を支える知財活用：WANアクセラレータ

カタログ

ホームページ*

仕様・外観(リモートバックアップモデル)*1

WAN アクセラレータ 機能	最大TCPセッション数	2,000	
	最大TCPセッション性能	1Gbps	
最大ポート数	1000BASE-X SFP(SX)	4	
	10/100/1000BASE-T	4	
バイパス機能*7		有	
高速転送処理部/インタフェース部*9		高速転送処理部	インタフェース部
筐体サイズ*8		1U	2.5U
冗長化		電源	電源
設備条件	入力電圧(V)	AC100±10%/AC200±10%	AC100~120/AC200~240
	最大入力電流(A)	100VAC:8.0 200VAC:4.0	100VAC:4.2 200VAC:2.6
	最大消費電力(W)	100VAC:680 200VAC:670	420
	最大発熱量(kJ/h)	100VAC:2,440 200VAC:2,380	1,510
	温度条件(°C)	10~35(非動作時:0~40)	0~40
	外形寸法 W×D×H(mm)	484×755×44 (フロントベゼル、取付金具、突起物を含む)	443×544×110
	質量(kg)(最大搭載時)	20	18

インタフェース部



高速転送処理部

通信・ネットワーク HITACHI
Inspire the Next

製品情報 | リソリューション・サービス | 導入事例 | サポート・ダウンロード | ニュース

→ サイトマップ | → お問い合わせ

製品情報 | ネットワーク高速化 日立WANアクセラレータ GX1000シリーズ

ネットワーク高速化 日立WANアクセラレータ GX1000シリーズ

大容量データの通信時間を大幅に短縮

写真上:ハイエンドモデル(国内向けモデル)
写真下:リモートバックアップモデル(国内向けモデル)

日立WANアクセラレータ GX1000シリーズ
ハイエンドモデル
リモートバックアップモデル
カタログ

日立工業新聞
55周年記念
受賞
日立工業株式会社
2013年度(第55回)
IT技術開発/日本のIT技術の発展に貢献
日立WANアクセラレータ GX1000

↓ 重要 ↓ 日立WANアクセラレータ GX1000シリーズのラインアップ
↓ WANアクセラレータ関連の特許出願

*1 記載のモデルは国内・海外向けモデルとなります。その他は国内向けモデルです。 *2 SMC : Service Module Card、WANアクセラレータ機能を提供。 *3 SMC1枚あたりで最大1Gbps(複数セッション)の高速処理が可能。
*4 SMCを1枚搭載し、その他空スロットにインタフェースカードを最大搭載した際の最大ポート数を示します。 *5 2スロットモデルはSFP(SX/LX)のみサポートします。 *6 2スロットモデルは1000BASE-Xおよび10/100/1000BASE-Tを収容出来る専用インタフェースカードを搭載した際の最大ポート数を示します。なお、1000BASE-Xの4ポートと10/100/1000BASE-Tの4ポートは排他使用となるため、専用インタフェースカードあたり最大8ポート収容可能です。*7 障害発生時に該当セッションをバイパスします(WANアクセラレータ機能なし)。 *8 1U:44.45mm *9 リモートバックアップモデルは、高速転送処理部とインタフェース部を1セリットしたモデルとなります。



安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」、
「使用上のご注意」などをよくお読みのうえ、おまもりください。

●カタログに記載の内容(仕様・外観)は、2012年11月時点のものです。製品の改良などのため予告なく変更することがあります。 ●製品の色は印刷されたものです。実際の製品の色調と異なる場合があります。●日立は、WANアクセラレータ関連の特許を、高速化通信技術を中心に、多数の国に出願しています。 ●本製品を輸出される場合は、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業までお問い合わせください。

「日立は、WANアクセラレータ関連の特許を、高速化技術を中心に、多数国に出願しています。」
と出願網をアピール

出願/特許番号、
出願国

日立は、WANアクセラレータ関連の特許を、高速化通信技術を中心に、多数の国に出願しています。

登録番号

04985296(日本)

国際公開番号

WO2011/033894A1(日本、中国、タイ、シンガポール、インド、EPO[European Patent Office]、ブラジル、米国、メキシコに出願済)

国際出願番号

PCT/JP2012/001344、PCT/JP2012/055259、PCT/JP2012/055260、PCT/JP2012/077755、
PCT/JP2012/079309

コーポレートで日立グループとして重点的に取り組むテーマ選定、活動推進

活動テーマと成果の例

テーマ	2012年度成果	今後の活動予定と狙い
スマートシティ	ISO*1分科会で幹事国獲得に貢献 国際議長に日立から就任	各国事例を報告書にまとめ、普及を推進 評価指標普及のためWBCSD*2とも連携
電力エネルギー 貯蔵システム	トップスタンダード制度*3を活用 IEC*4専門委員会で幹事国獲得に貢献	導入の際に検討すべき安全、環境、技術、 社会面の評価項目を規格化し、導入を促進

工業標準化事業表彰 経済産業大臣賞受賞

受賞者	受賞理由
白坂 行康	IEC専門委員会のコンビーナ*5 UHV*6送電において、日本の変圧器絶縁試験レベル・方法をIEC規格に反映
古関 庄一郎	IEC専門委員会のコンビーナ パワーエレクトロニクス電力変換装置の効率規定をIEC規格にて明確化

*1 国際標準化機構、*2 持続可能な発展のための世界経済人会議、*3 迅速な国際標準提案を図るための日本工業標準調査会の制度、
*4 国際電気標準会議、*5 作業グループの議長、*6 超々高電圧

HITACHI
Inspire the Next 